



鹿児島地方気象台
Kagoshima Meteorological Office

令和6年5月24日（金）：第1回鹿屋市地域防災リーダー会議

大雨防災ワークショップ



鹿児島地方気象台
要配慮者対策係長 轟 日出男

経験したことのない

大雨

その時どうする？



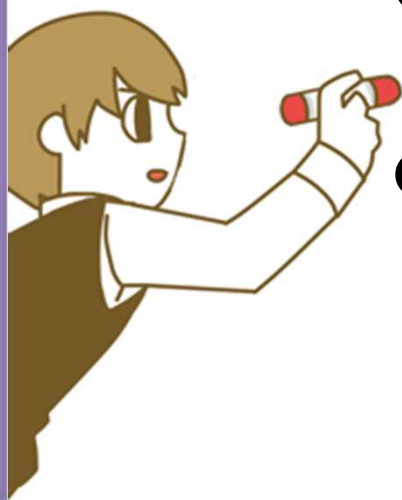
大雨防災ワークショップの進め方

- **レクチャー（講義）**

グループワークで使う**ヒント**をお話
するのでしっかり聞いてください！

- **グループワーク**

- **発表**





真っ白くなって見通しが悪い

車道や歩道に水が溜まっている

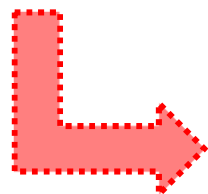
下水から勢いよく水が噴き出している

急な大雨で川の水が増える場合があります



出展：神戸市建設局

提供：神戸市



10分後

神戸市
河川モニタリング
カメラシステムより

約 10 分で水位が 1 m 30 cm 上昇



長時間大雨が降ると川の水があふれることもあります。



どういうところが危険でしょうか？

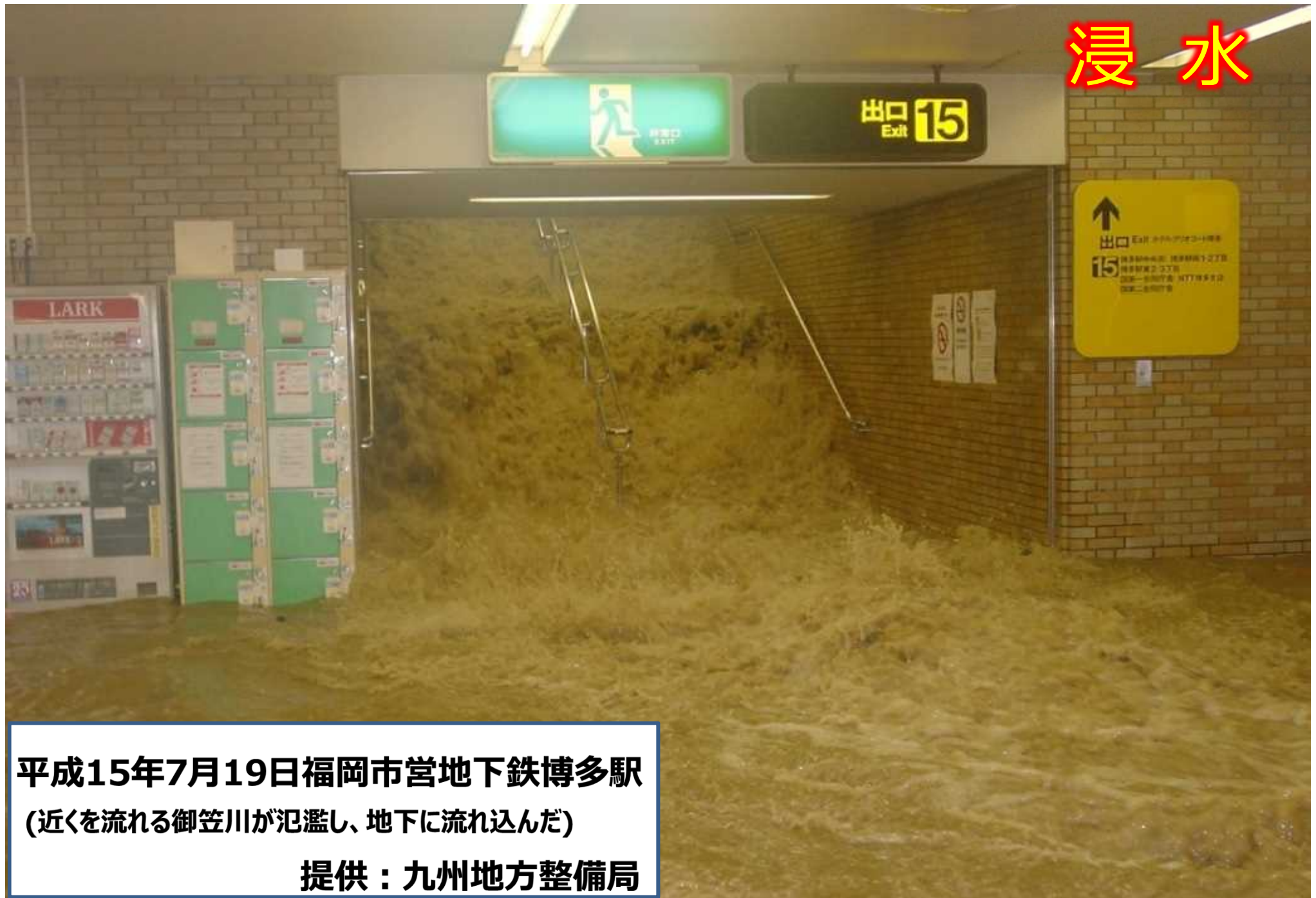


【濁った水で冠水した道路】



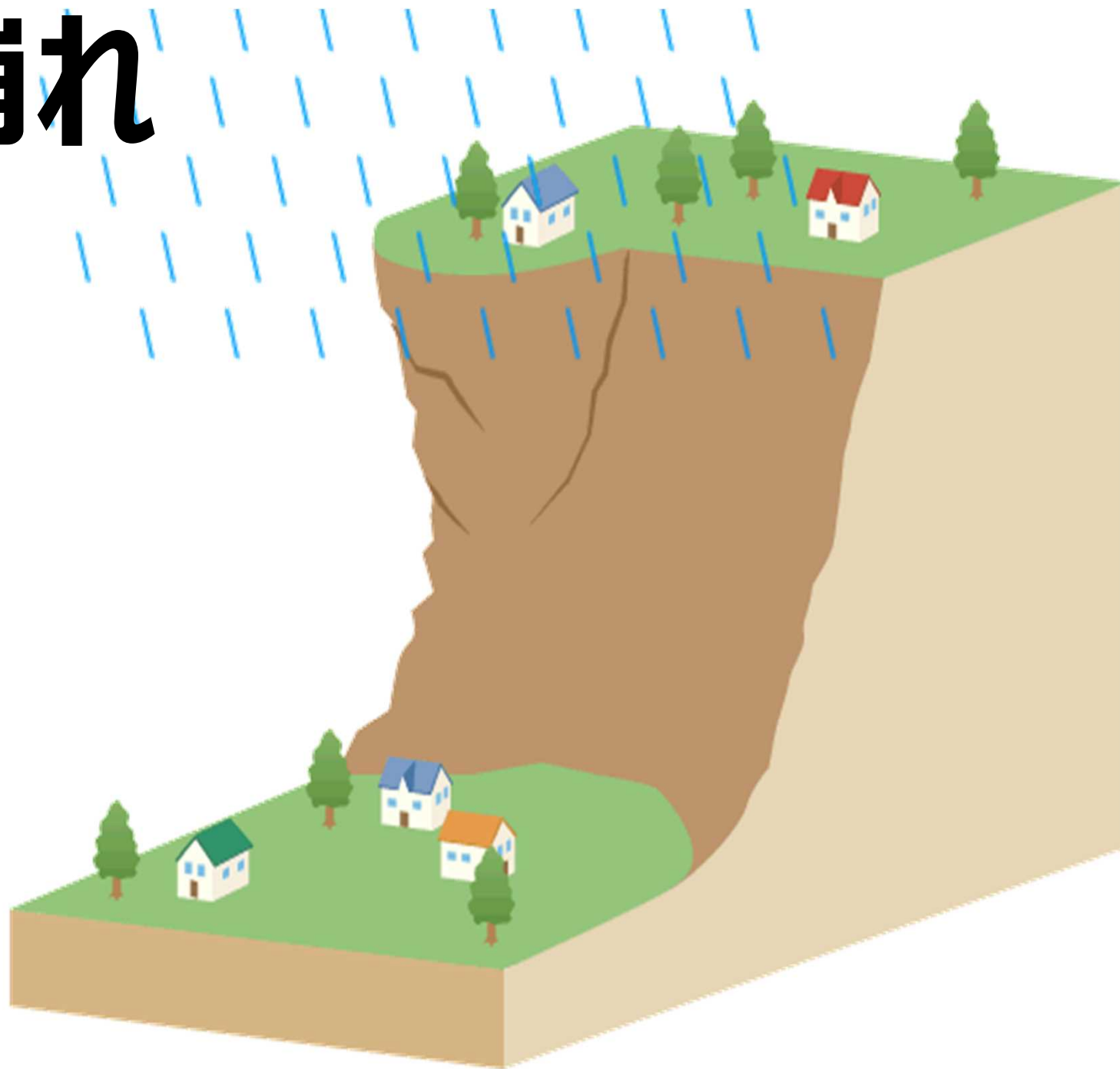
【勢いよく水が流れる道路】

大雨によって建物が水に浸かってしまうこともあります。



平成15年7月19日福岡市営地下鉄博多駅
(近くを流れる御笠川が氾濫し、地下に流れ込んだ)
提供：九州地方整備局

がけ崩れ



【出典:奈良県砂防・災害対策課ホームページ】

がけ崩れ 8. 6豪雨【1993年（平成5年）8月6日】

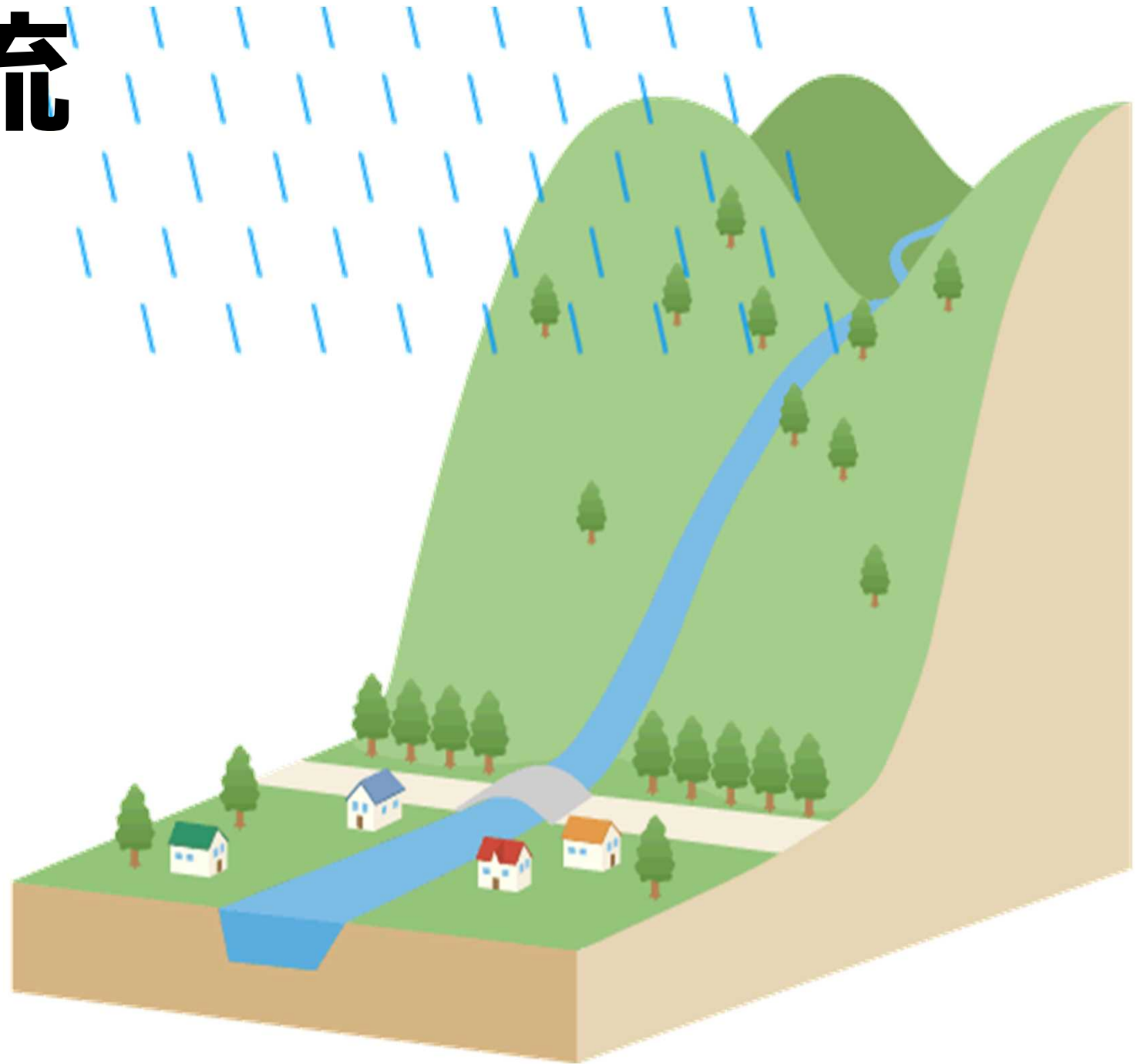
鹿児島市の甲突川上流

小山田町

【がけ崩れ（映像提供:MBC南日本放送）】

映像提供：MBC南日本放送

土石流



【出典:奈良県砂防・災害対策課ホームページ】

土石流

梨子沢3

平成26年7月長野県南木曽町
(死者1名、負傷者3名)

映像提供：国土交通省中部地方整備局

大雨災害から身を守るためには・・・？

- 1 地域の災害リスク（危険度）を知る
- 2 災害から身を守るための知識を持つ

1

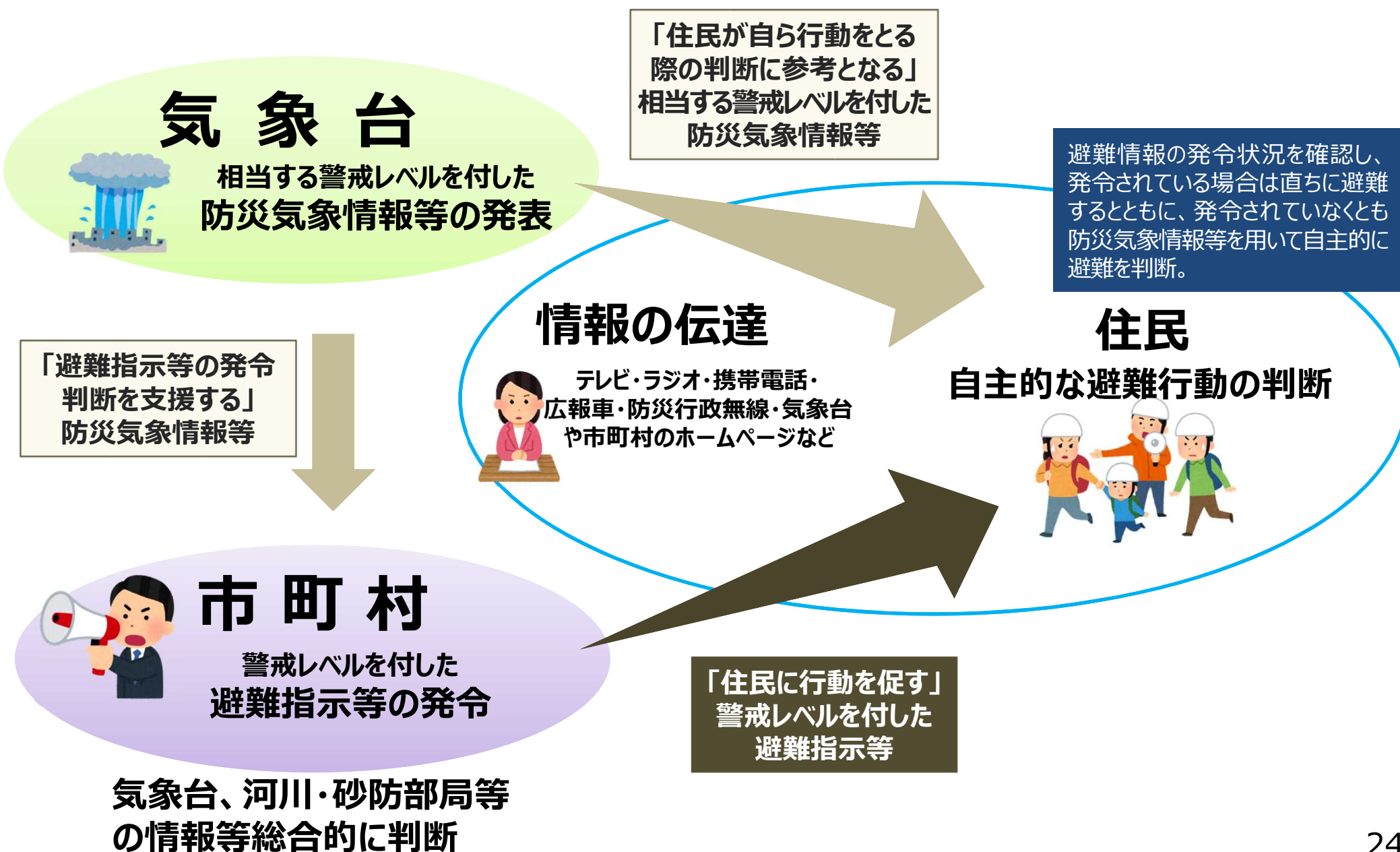
地域の災害リスク（危険度）を知る

【鹿屋市防災マップ引用】

ハザードマップの活用



- ・避難場所はどこ？
- ・他に避難できそうなところは？
- ・避難ルートは？迂回するとしたら？
- ・避難ルートに危ないところはないかな？
- ・過去に災害のあった場所はないかな？



2 身を守るための知識を持つ

警戒レベル

住民が取るべき行動

市町村の対応

気象庁等の情報

高い

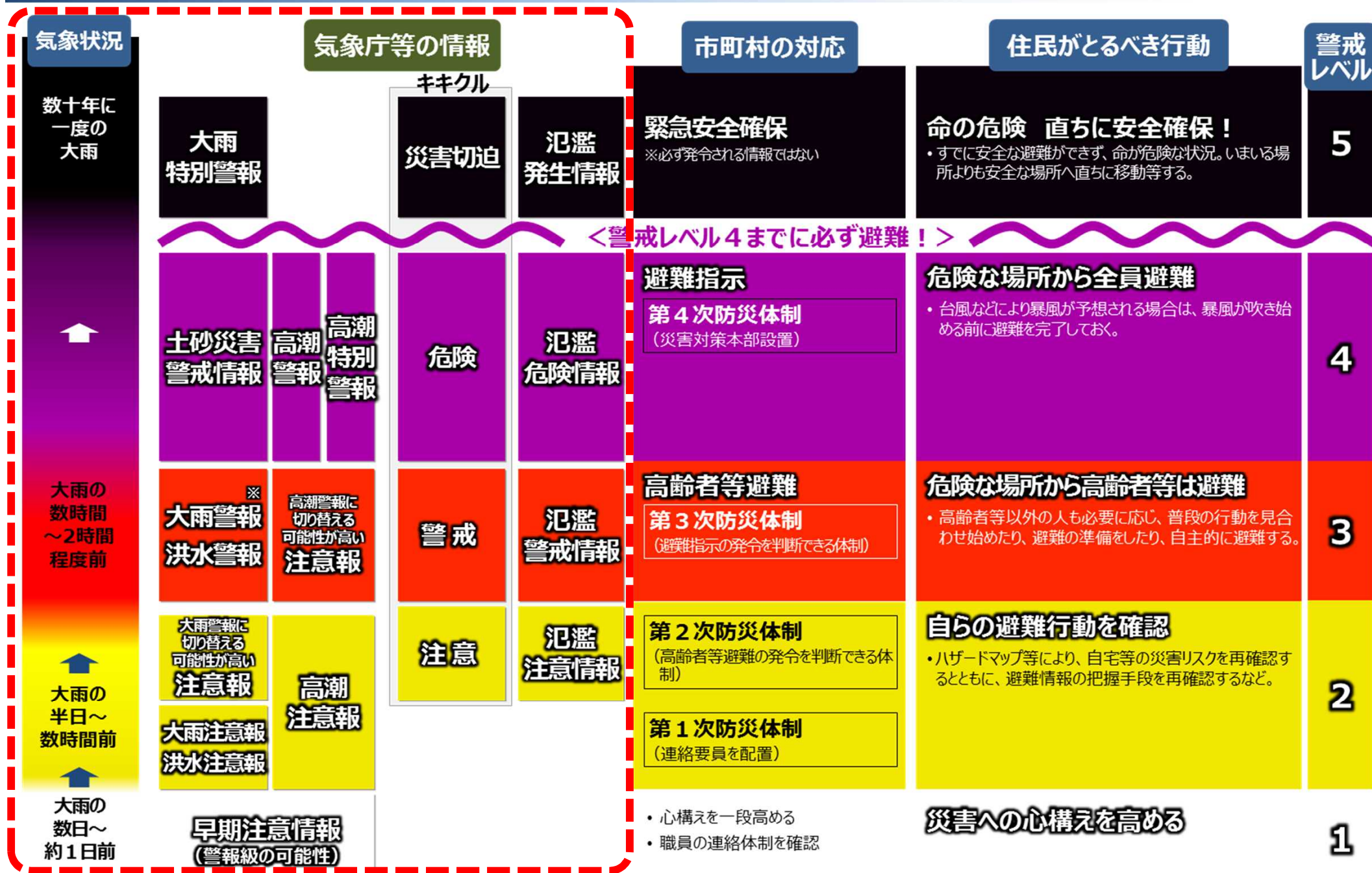
危険度

低い

警戒レベル 1～2、
警戒レベル 3～5に相当
する情報は気象台が発表

警戒レベル 3～5は
お住いの市町村から発令されます

段階的に発表される防災気象情報



※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

2

災害から身を守るための知識を持つ

大雨の際の防災気象情報発信の流れ

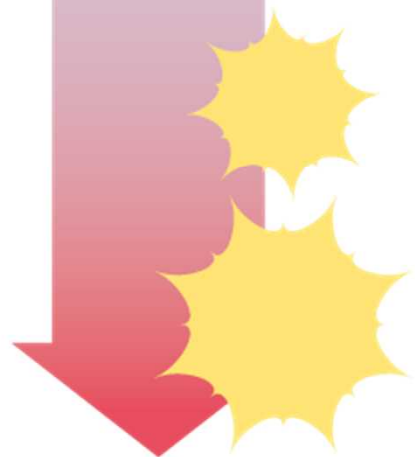
数日～
1日前

早期注意情報（警報級の可能性）

【警戒レベル1：災害への心構えを高める】

半日～
数時間前

数時間～
2時間前



早期注意情報（警報級の可能性）

5日先までに警報が発表されそうな日があることをお知らせする情報

例

鹿児島県薩摩地方の早期注意情報（警報級の可能性）

令和●年●月1日17時00分 鹿児島地方気象台発表

薩摩地方では、2日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性が高い。

鹿児島県薩摩地方		1日	2日				3日	4日	5日	6日
		18-24	0-6	6-12	12-18	18-24				
大雨	警報級の可能性	[高]		[高]			[中]	—	—	—

[高]：警報を発表中、又は警報を発表する可能性が高い

[中]：[高]ほどは可能性は高くないが、可能性がある

大雨に関して5日先までに [高] 又は [中] が予想されている場合は、
警戒レベル 1です。**災害への心構えを高める**

2

災害から身を守るための知識を持つ

大雨の際の防災気象情報発信の流れ

数日～
1日前

早期注意情報（警報級の可能性）

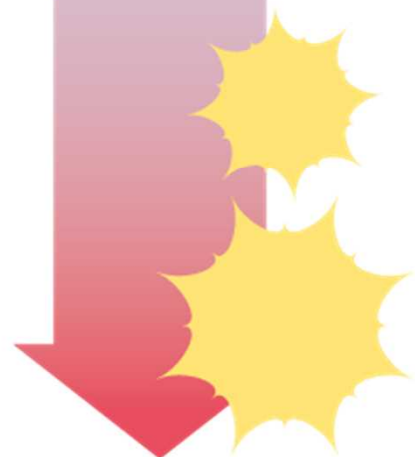
【警戒レベル1：災害への心構えを高める】

半日～
数時間前

大雨注意報・洪水注意報

[警戒レベル2：自らの避難行動確認]

数時間～
2時間前



大雨注意報・洪水注意報 ⇒ 災害が起きるおそれ

【警戒レベル2：自らの避難行動確認】



- ✓避難に備え、ハザードマップ等により、
避難経路・避難場所等の確認
- ✓非常用持ち出し品の準備や確認
- ✓テレビ等で最新の気象情報を確認

2

災害から身を守るための知識を持つ

大雨の際の防災気象情報発信の流れ

数日～
1日前

早期注意情報（警報級の可能性）

【警戒レベル1：災害への心構えを高める】

半日～
数時間前

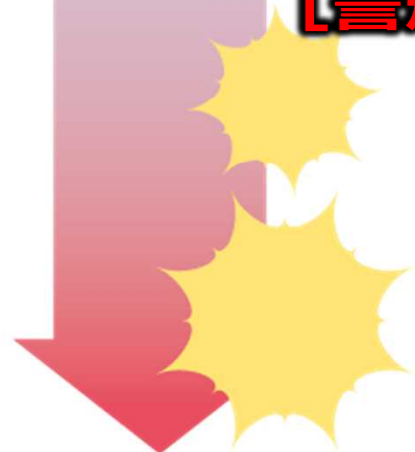
大雨注意報・洪水注意報

[警戒レベル2：自らの避難行動確認]

数時間～
2時間前

大雨警報・洪水警報

[警戒レベル3相当：危険な場所から高齢者等は避難]



大雨警報・洪水警報 ⇒ 重大な災害が起きるおそれ

[警戒レベル3相当：危険な場所から高齢者等避難]

・がけや山の近く・川のそば、周りより低い場所



小さな子どもと一緒に



障がいのある方や
お年寄りと一緒に

危険な場所から避難

災害の発生が想定されているような危険な場

所にお住まいの **高齢者、障害のある方、**

乳幼児等及びその支援者は避難

2

災害から身を守るための知識を持つ

大雨の際の防災気象情報発信の流れ

数日～
1日前

早期注意情報（警報級の可能性）

【警戒レベル1：災害への心構えを高める】

半日～
数時間前

大雨注意報・洪水注意報

【警戒レベル2：自らの避難行動確認】

数時間～
2時間前

大雨警報・洪水警報

【警戒レベル3相当：危険な場所から高齢者等は避難】

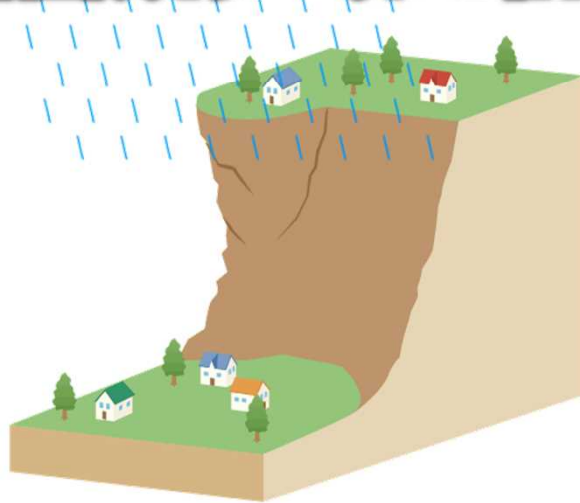
土砂災害警戒情報

【警戒レベル4相当：危険な場所から全員避難】

土砂災害警戒情報

⇒重大な土砂災害発生のおそれが高い状況

〔警戒レベル4相当：危険な場所から全員避難〕



【がけ崩れが起こりそうな危険な場所】【土石流が起こりそうな危険な場所】 **危険な場所から全員避難**

土砂災害が想定されているような危険な場所(家のすぐそばに山や崖がある)では、いつ崩れてもおかしくない状況。

速やかに **危険な場所から全員避難**

2

災害から身を守るための知識を持つ

大雨の際の防災気象情報発信の流れ

数日～
1日前

早期注意情報（警報級の可能性）

【警戒レベル1：災害への心構えを高める】

半日～
数時間前

大雨注意報・洪水注意報

【警戒レベル2：自らの避難行動確認】

数時間～
2時間前

大雨警報・洪水警報

【警戒レベル3相当：危険な場所から高齢者等は避難】

土砂災害警戒情報

【警戒レベル4相当：危険な場所から全員避難】

大雨特別警報

【警戒レベル5相当：命の危険 直ちに安全確保】

大雨特別警報 ⇒ 異常事態

【警戒レベル5相当：命の危険 直ちに安全確保】



【がけから離れた部屋に移動】【近隣の建物の上階へ移動】

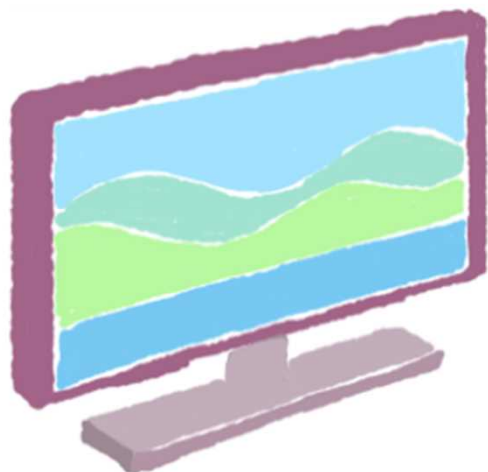
何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高く、
安全な避難ができず、命が危険な状況。

今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動し、身の安全
を確保する。

警戒レベル4までに必ず避難！

2

身を守るための知識を持つ



テレビ



ラジオ



携帯電話（スマートフォン）



177

広報車



防災行政無線



鹿児島地方気象台ホームページ

災害への心構え

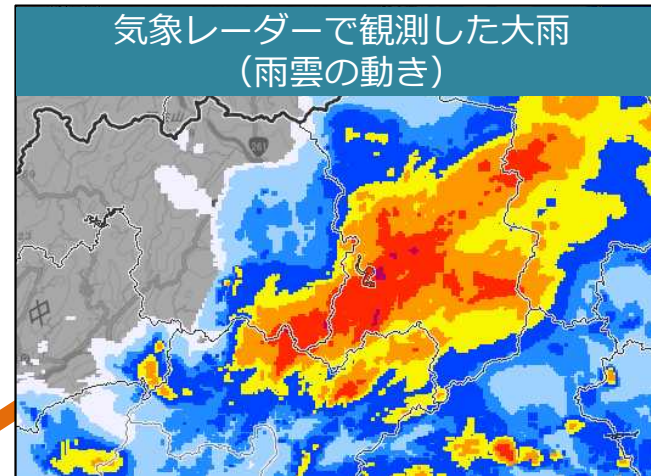
災害は「まさか」ではなく
「いつか」起きるものと思って備える！

「自分は大丈夫」と思わない！

「自分の命は自分で守る」「大切な人の命を
守る」という意識を持つ！

- **以下參考資料**

- 気象庁では、大雨や洪水の警報等と合わせて、どこで危険度が高まっているかを地図上で一目で確認できる「キキクル：危険度分布」を提供。



色が持つ意味

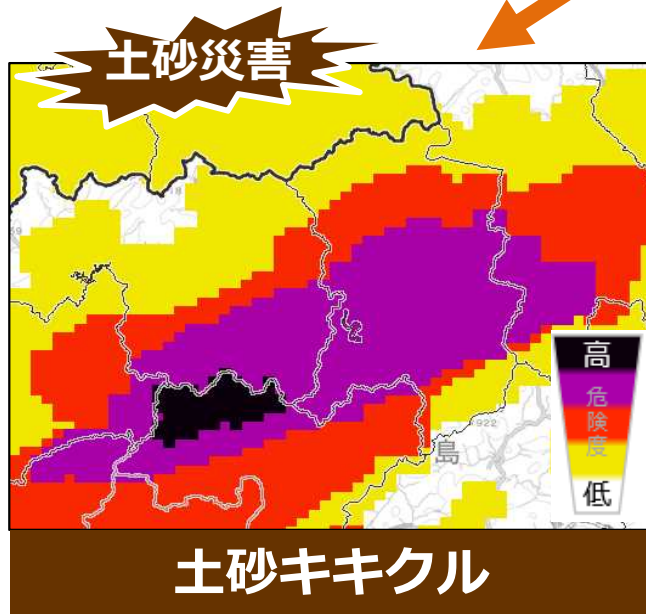
災害切迫

危険

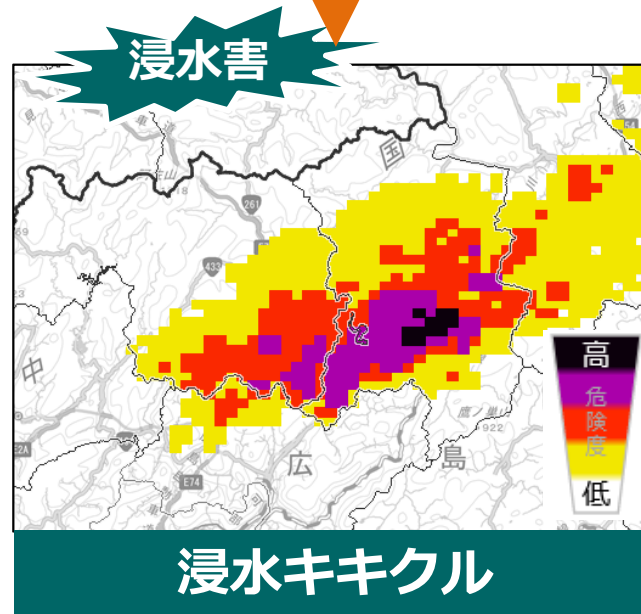
警戒

注意

今後の情報等に留意



土砂災害…降った雨が地中に浸み込んで溜まっている量を数値化した「**土壌雨量指数**」の基準により、大雨警報（土砂災害）の発表を判断



浸水害…雨の地表面での溜まりやすさを考慮した「**表面雨量指数**」の基準により、大雨警報（浸水害）の発表を判断



洪水害…雨が地表面や地中を通して川に集まり流れ下ってくるまでの時間差を考慮した「**流域雨量指数**」の基準により、洪水警報の発表を判断

